



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL: 0173(72)2931



## 令和6年度 白神山地周辺で撮影された動物たち

当センターでは平成27年から中・大型哺乳類調査をおこなってきています。これは、白神山地のブナ林生態系の長期的なモニタリングをする中で、中・大型哺乳類の現状把握や位置確認の記録が重点調査に位置づけられているほか、ニホンジカの生息域について調査項目として挙げられているためです。

ニホンジカは一部の忌避植物を除くほぼ全ての植物を採食します。このため、ニホンジカの密度が著しく高くなると、森林の下層植生が消失するなど、生態系に大きな影響を与えます。このため中・大型哺乳類調査をおこなっています。

そこで、令和6年度中・大型哺乳類調査で撮影された動物たち一部紹介したいと思います。



カモシカ（深浦町 梅津川下流）



ニホンジカ（深浦町 吾妻川付近）

カモシカ・ニホンジカどちらも偶蹄目（ひづめが2本や4本などの偶数の哺乳類の総称）だがカモシカはウシ科、ニホンジカはシカ科である。

カモシカはオス・メスともに角がはえ、抜けることは無い。

ニホンジカのオスは毎年角がはえかわり、メスには、はえない。

カモシカのひづめは先を広げ足場の悪いところでも安定するが、ニホンジカのひづめは、ほっそりとしていて、開けた場所を早く走るのに向いている。



キツネ・タヌキとともにゴミを漁ったりするので注意してね。



夏毛は顔が黒く、全体に茶色で胸は黄色になるよ。

リスやキツネが貯食をするのは知られているが、テンも貯食をしたりする。



本来は南方系の動物で、積雪の多い地域には分布していなかったが、近年見られるようになり、増えている。

雄には上下1対の牙がある。

円盤状の鼻で地面を掘り返し、植物の根や茎、昆虫やミミズなどを食べる。



雑食性で木の芽や葉、草の葉や茎や根、タケノコ、ドングリ、果実、アリやハチなど昆虫を食べる。

また、シカやカモシカの死体を食べることもある。

山菜取りや山に入る際は気を付けましょう。

他にも色々動物が撮影されました。

令和7年度もよろしくお願いします。